

左手のピアノ五重奏

智内威雄 (P) & マウロ イウラート (Vn)

若松みなみ (2Vn)、ザザ・ゴグア (Va)、近藤浩志 (Vc)

2011年4月7日(木)

19:00開演(18:30開場)

兵庫県立芸術文化センター小ホール

全席自由席(2500円)

徒歩2分(阪急西宮北口駅に直結)



チケットお問い合わせ: 0798-68-0255
(芸術文化センターチケットオフィス)

078-291-7836
(Left Hand Piano Music 事務所)

メール予約は左記のQRコードを読みとり下さいませ。



写真:長島義明

演奏曲目

コルンゴールド:組曲
シュミット:ピアノ五重奏

*演奏者の都合により曲目が変更になる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。

Takeo Tchinai
<http://www.tchinai.com>

演奏にあたつて
過酷な時代に花咲いた左手の作品群
音楽への強い思いを集結させた珠玉の名作
演奏される機会が少ない隠れた傑作の数々
皆様と素敵な時間を共有できればと思います。
(智内威雄)

本格的な左手ピアノ演奏の室内楽曲。ウィーン後期ロマン派の世界がここに蘇る!!
モーツアルトの再来と言われ、シェーンベルクと並び評された「コルンゴールド」。しかし戦争の闇に包まれたウィーンを去る羽目に。亡命先のアメリカでは映画音楽の世界に多大な影響を与え、ハリウッドに繁栄をもたらした不屈の天才作曲家。



プロフィール

Mauro IURATO マウロ・イウラート (Violinist)

1977年イタリア、トリノ生まれ。4歳でピアノ、9歳からヴァイオリンを習い始める。トリノのジュゼッペ・ヴェルディ国立音楽院を1997年に最優秀成績で卒業、その後、奨学金を得ながらグッリ、ロマーノ、アッカルドなど有名各師の元ヴァイオリンの腕を磨く。1998年にウィーン国立音楽大学に入学、ミヒャエル・フリッシャンシュラーガー教授のもとで研鑽を積み、多くの国立及び国際コンクールで優勝する。また2002年には同教授と「ラ・ヌオヴァ・アルカ」音楽教会と共にWTV-ヴィーン・トゥリン・ヴィルトゥオージ室内楽団を結成、代表を務める。来日後は、ソリストとしての活動のほか、アンサンブル神戸首席コンサートマスター、また大阪フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢などに客員コンサートマスターとしてゲスト出演を続けている。



左手のピアニスト: 智内威雄 (ちないたけお)

1976年生まれ。東京音楽大学ピアノ演奏科コースを卒業後、ドイツ・ハノーファー音楽大学に留学。E.S.ネックレベルク氏に師事し研鑽を積む。同大学在学中にマルサラ国際コンクール3位入賞。その後ジストニアが発症し、大学を休学しリハビリを開始。03年より左手のピアニストとして演奏活動を再開。左手のみで行った室内楽の卒業試験では満場一致の最優秀成績を収める。06年3月に広島交響楽団とラヴェルの「左手のための協奏曲」を共演し、観衆をはじめ共演指揮者、楽団員から絶賛される。07年7月に関西テレビ制作のドキュメンタリー番組「心に響く命の音・左手のピアニスト・智内威雄」が放送される。10年より演奏活動とともに左手楽曲の演奏資料作成、楽譜収集、演奏方法等をまとめる活動"LeftHandPianoMusic"に着手する。

主催: Archive for Left Hand Piano Music

後援: 風を送る会